



国際ロータリー／ロータリー財団

2016-17年度年次報告

時計の針は、一日の終わりにもスピードをゆるめずに回りつづけます。ロータリーの活動も、年度末にペースを落とすことはありません。達成にあふれた1年に別れを告げるとき、手を休めるよりも、むしろ活動にさらに拍車をかけて新たな年度に臨むのです。

ロータリー財団は創立100周年を迎えました。1917年、設立から12年だったロータリーは、まだ小さい団体ながらも、急速に成長していました。財団設立の構想に全員が賛成したわけではありませんでしたが、最終的には多くの支持を得て実現にいたりました。最初の寄付が寄せられ、その後も寄付が続きました。これを機にロータリーは、新たな道、すなわち、今日のロータリーにいたる道、世界を永久に変えていくことのできる規模と強さを備えた組織にいたる道を歩みはじめたのでした。

このメッセージを書いている現在、2017年の野生型ポリオウイルスによる症例数はわずか数例にとどまっています。財団100周年を祝ったアトランタ国際大会では、ポリオ撲滅への12億ドルの誓約が発表されました。世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)のパートナー組織、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、そして各国政府とともに、ロータリーはポリオの撲滅を必ず見届けます。ポリオ撲滅が実現した暁には、ロータリー財団を通じて「人類に奉仕するロータリー」がなければ撲滅は不可能だったことを、私たちは改めて認識するでしょう。



国際ロータリー
2016-17年度会長
ジョン F. ジャーム



ロータリー財団
2016-17年度管理委員長
カルヤン・バネルジー





「Connecting for Good Tour」で地元のBoys & Girlsクラブのボランティアに参加する米国カリフォルニア州のロータリアンとローターアクター

ロータリーへようこそ

国際ロータリーは、地域社会と世界に変化を生み出すためにともに活動する120万人以上の会員から成るネットワークです。会員は、ロータリーを通じてアイデアを広げ、生涯つづく友情を育み、持続可能な成果をもたらす奉仕プロジェクトを実施しています。

タイでは、就職難にあえぐ近隣の住民たちのために、バンコク・ロータリークラブが職能訓練センターの建設を支援しました。

ドイツでは、大量のプラスチックゴミが埋め立て地に捨てられていることを知った国内のロータリークラブが協力し、1億個以上のペットボトルキャップ（200トン相当）をリサイクルする取り組みを開始。キャップの売却益は、ポリオ撲滅活動に寄付されました。

ニカラグアでは、近隣の2つの村の家庭用水が汚染されていることを知ったシウダードサンディノ・ロータリークラブが、上水道の改修工事の間にも住民がきれいで安全な水を利用できるよう、セラミックの水フィルターを提供しました。

クラブ活動、親睦行事、ボランティアプロジェクト、ネットワークづくりなど、ロータリー会員は職業や奉仕を通じてより良い地域社会を築き、地球の隅々で草の根の活動を行いながら世界を変えています。



国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

数字で見るロータリー



全世界のロータリアン数*

1,202,937



ロータリークラブ数*

35,656

2016-17年度に加盟した
新ロータリークラブ数*

883

会員数の上位5カ国*



*2017年7月1日現在

rotary.org/annualreportで
ロータリーの会員状況に関する
インタラクティブ地図やその他
の情報をご覧ください。

インドでの全国予防接種日に参加する弘前アップルロータリークラブ（日本、青森県）の会員



1年を振り返って

強くて活気あるクラブに

2016年規定審議会による決定で、クラブの構成と運営により大きな柔軟性が与えられました。これを受けて、現会員と入会候補者のニーズに応えるために、多くのクラブが例会頻度や出席要件を変更し、複数の会員種類を設け、ローターアクターに入会の門戸を開きました。これらの変化によって入会者が増え、会員維持率が高まっています。

変化を生み出す

引き続きロータリーの最優先事項であるポリオ撲滅では、全世界での予防接種活動により、2016年の

ポリオによるまひ発症数は史上最少となりました。ポリオ撲滅のほかにも、ロータリー重点分野（「平和の推進」「疾病との闘い」「きれいな水の提供」「母子の健康」「教育の支援」「地域経済の発展」）に沿った取り組みをクラブが実施しており、ロータリー補助金を通じて各地の地域社会を支援しています。2016-17年度には、1,260件のグローバル補助金申請が承認され、総額7290万ドル以上の補助金が授与されました。

活動に対する認知を高める

ロータリーの価値と活動を人びとに伝えるために、ブランド活性化にも力を注ぎました。Rotary.orgが新



しくなり、より分かりやすくロータリアンの活動を紹介するものとなったほか、地域社会を変えていこうとする会員の姿を生き生きと表現した「世界を変える行動人」公共イメージキャンペーンが開始されました。その結果、広報に拍車がかかり、メディアによる好ましい報道が増えました。

COURTESY OF MOLLY YOUNG



数字で見るロータリー



ロータリアンが ボランティア活動に 費やした総時間数	ロータリアンが実施した 奉仕プロジェクトの数
2430万	30,000

活動の現場から

新たな道を切り拓く

フィオナ・バセットさんは、母親が所属するロータリークラブからの入会の誘いを何年も断り続けてきました。しかし、国際協議会が開かれた米国サンディエゴを母親と一緒に訪れたとき、その経験に刺激を受け、ロータリアンになるだけでなく、柔軟な新クラブを設立することを決意しました。

英国に帰国したバセットさんは、数週間のうちに会員集めを開始。他クラブとは違う魅力を出すために、家族も例会に参加でき、SNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス）を活発に利用するという方針を決めました。例会は隔週で、食事はなし、服装規定もなし、全例会に出席する義務もありません。その代わりに会員はSNSで交流し、地域社会でのロータリーへの認識向上に努めることにしました。

2016年7月5日、晴れてレクサム・グリンデュア・ロータリークラブが設立され、イアン H.S. ライズリーRI 会長エレクト（当時）とイヴ・コンウェイRIBI（グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー）会長（当時）が加盟認証伝達式に出席しました。現在の会員数は23人、入会を希望している人も多くいるそうです。



ロータリー財団創立100周年

1917年のロータリー国際大会（米国ジョージア州アトランタ）を訪れた参加者

「世界でよいこと」をしてきた1世紀



地元の農家の農期を延長するために、トンネル式の温室を経て米国アーカンソー州リトルロックのロータリークラブ会員

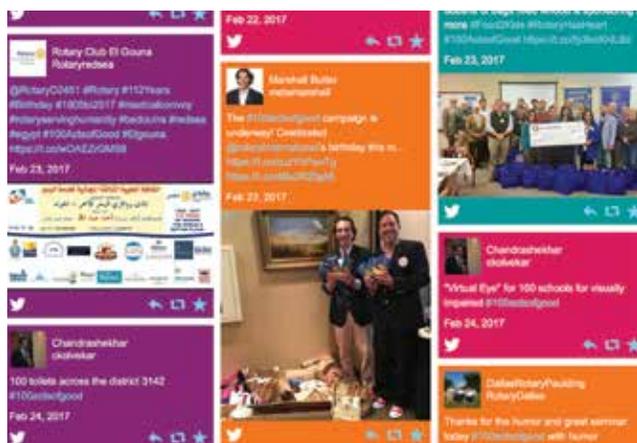
rotary.org/annualreportでロータリー財団史に関するこのほかの記事をご覧ください。

1917年、当時のロータリー会長アーチ・クランプは、「世界でよいことをする」ための基金の設立を提案しました。最初の寄付26ドル50セントで出発したこの基金は、プログラム、プロジェクト、奨学金のために39億5000万ドルを授与するほどの財団に成長しました。

祝賀に沸いた1年

財団100周年の祝賀は、2016年ソウル国際大会から2017年アトランタ国際大会まで、1年にわたって行われました。

この1年間、世界中の会員が祝賀行事を実施し、財団の活動を地域社会に紹介。募金活動や独自の活動を行って、ハッシュタグ「#TRF100」とともにSNSで情報を発信しました。米国では、食事に困っている人たちのためにオースティン・ロータリークラブ（テキサス州）が22,000食以上を準備しました。南アフリカでは、ダーバン・ベレア・ローターアクトクラブが子ども、警察官、メンテナンス作業員にお菓子を配ってディワリ（ヒンドゥー教の祭り）を祝いました。フィリピンでは、ミッドタウン・ジェネラルサントス・ロータリークラブが老人ホームで昼食をふるまいました。



3億ドルという野心的な募金目標にも、ロータリアンが意欲的に取り組みました。その結果、目標額を上回る募金に成功し、財団の第2世紀に向けた勢いをつけました。

支援者の紹介

マイケル・ボステルマンさんと ゲンヒルドさん夫妻（グアテマラ）

アーチ・クランプ・ソサエティ管理委員会サークル

「ロータリー財団100周年は、寄付をするのに良い機会でした。寄付に上乘せしてくれるだけでなく、ほかの寄付と一緒に意義あるプロジェクトに活用している慈善団体は、私の知る限りロータリー財団しかありません。地域社会が何を必要としているか、どうすれば最大の成果が得られるかを知っている地元ロータリアンたちが実施するプロジェクトを通じて、世界の問題を解決できるのです」



アトランタ国際大会では、イタリア、アニョーネにあるマリネッリ鋳造所から「ロータリー財団100周年の鐘」がジョン F. ジャームRI会長に贈呈され、会長の点鐘により国際大会が幕を開けました。大会中には財団100周年誕生パーティーも開かれ、会員たちがバースデーカードに記名したり、ケーキを食べたり、誕生日ソングをそれぞれの母国語で歌いました。

世界最高峰で

アムステルフェーン・ロータリークラブ（オランダ）会員のオリバー・フリセンドープさんは、世界七大陸の最高峰を制覇することで、財団100周年を最高のかたちで祝いました。標高8,848メートルのエベレスト登頂に成功した彼は、財団100周年ロゴの入った旗を誇らしげに広げました。

COURTESY OF OLIVER VRIESENDORP





若いリーダー

若い世代が自分たちの力で未来を築くために

rotary.org/annualreportで
若いリーダー向けプログラムに
関するこのほかの記事をご覧
いただけます。

COURTESY OF ROTARACT CLUB OF IZMIR EKONOMI

平和教育は若いうちから

国連によると、トルコに住むシリア難民は270万人以上。そんな中、学校でシリア人とトルコ人の生徒が互いをより良く理解できるよう、イズミール・エコノミ・ローターアクトクラブが平和について生徒に教えるプログラムを開始しました。欧州評議会、欧州法学生協会、国連、児童心理学者と協力してワークショップを開催し、参加した生徒たちは絵画を通じて心の内を表現しました。これらの作品から、生徒たちに多くの共通点があることが分かりました。争いを解決するためのスキルを子どもたちに教えました。

平和な地域社会を築くこの活動により、イズミール・エコノミ・ローターアクトクラブに2016-17年度「ローターアクト卓越したプロジェクト賞」（欧州・中東・中央アジア部門）が贈られました。

動物だって家が必要

2016年4月16日、エクアドルの都市マンタをマグニチュード7.8の大地震が襲ったとき、町で唯一の動物シェルター「Fundación Esperanza Canina」も倒壊の被害を受けました。このシェルター

は、野良犬や野良猫を一時的に預かり、獣医サービスや飼い主あっせんも行っていました。

地震の後、マンタ・インターアクトクラブの会員たちは、住む場所をなくした動物たちに餌を与えていましたが、やがてそれだけではなく、動物たちのために木の小屋をつくる「House for a Friend」（友だちへの家）という活動を開始。

インターアクターたちにとって、助けが必要な友達に手を差し伸べるのは、相手が人間であれ動物であれ、大切なことだと言います。



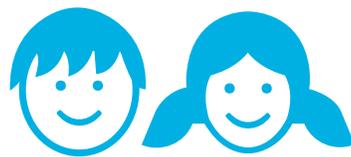
COURTESY OF INTERACT CLUB OF MANTA

数字で見るロータリー



ローターアクター数（推定）*

241,408



インターアクター数（推定）**

508,185



青少年交換参加者

8,695



奉仕活動の数

6,000

* ローターアクトの対象年齢は18～30歳

** インターアクトの対象年齢は12～18歳



ポリオの撲滅

「ポリオのない世界」に向けたカウントダウン



endpolio.org/ja/donateを通じたポリオ撲滅へのご寄付が3倍になります。

ロータリアン主導による ナイジェリアでのポリオ撲滅活動

2016年8月、ナイジェリアで2年ぶりにポリオ症例が報告されました。これは、長引く紛争によって子どもへの予防接種が妨げられているボルノ州から報告されたものでした。

同国政府および世界ポリオ撲滅推進活動 (GPEI) との協力の下、ナイジェリアのロータリアンが全国を奔走し、症例の報告から数週間内に100万人の子どもにワクチンを投与する緊急対応チームに参加。12月までに、さらに6000万人の子どもにワクチンが投与されました。

ナイジェリア政府はポリオ撲滅に全力を傾ける意向を示しています。「ポリオ撲滅は国の誇りと榮譽にかかわる」と同国のアイザック・アデウォル保健相。「国民、そして世界の期待に必ず応えます」

ポリオ撲滅に各国から支援

アトランタで開かれた2017年ロータリー国際大会で、各国のリーダーがポリオ撲滅に12億ドルの支援を約束しました。ロータリーは、「End Polio Now: 歴史をつくるカウントダウン」キャンペーンを通じてこの先3年間に年間5000万ドルを募金することを目標に掲げました。大会で基調講演を行ったビル・ゲイツ氏は、ロータリーからのポリオ撲滅への寄付に対し、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が2倍額を上乗せすることを発表。これにより、ロータリーからポリオプラスへの寄付は3倍となり、3年間で総額4億5000万ドルがポリオ撲滅に投入されることとなります。この資金は、サーベイランス (監視)、症例発生への対応、ポリオ予防接種への支援に充てられます。



支援者の紹介

ラジャシュレー・ビルラさん (インド)

アーチ・クランフ・ソサエティ・財団プラチナサークル

「ポリオのような悲惨な病を地球上からぬぐい去り、歴史をつくる一歩手前まで来ています。ポリオを撲滅することへのロータリーの熱意、思いやり、努力に深く感動しています。ポリオのない世界という共通の目標、そして未来の子どもたちへの約束を果たすために、私たちは、世界中のロータリアンと手を取り合います」



数字で見るロータリー



1人の子どもを
ポリオから守るための
経口ポリオワクチン

2滴



予防接種を

受けていなかったら
まひ障害を負っていたと
推定される人の数

1600万



毎年ポリオの
予防接種を受ける
子どもの数

4億



ワクチンを投与するために
戸別訪問を行う
ヘルスワーカーの数

15万以上



ウガンダのカンバラにある「Bitone Center for Disadvantaged Children」で伝統的なダンスを披露する若者たち。このセンターは、病気、戦争、経済的な困難などの影響下にある若者に教育、食糧、支援を提供しています。

次世代の平和構築者を育てる

平和の推進



rotary.org/annualreportで平和の推進におけるロータリーの取り組み（ロータリー平和センターを含む）に関するこのほかの記事をご覧ください。

奴隷と人身売買への認識を高めるため、2017年ロータリー国際大会（米国ジョージア州アトランタ）で行なわれた祈りの集い

水を通じて平和の種をまく

ユダヤ教、イスラム教、キリスト教、ドゥルーズ派など異なる宗教が共存しているイスラエルの多くの地域は、常に平和であるわけではありません。起こりうる争いを防ぐため、イスラエルのハイファ・ロータリークラブがコーラルスプリングス・パークランド・ロータリークラブ（米国フロリダ州）と協力してグローバル補助金を利用し、「Hands Across Waters」プログラムを開始しました。このプログラムでは、宗教や文化が異なる生徒たちが、共有する環境を守るという共通目標に向けて取り組むことで、協力の精神を育んでいます。

最近では、600人の中学・高校生が水保全プロジェクトで協力し、文化を超えた関係を築きました。生徒たちは一緒に雨水利用システムについて学び、古代の井戸と導水路を見学し、農業と灌漑の実地授業に参加。これらの経験を通じてつくられた関係は、対立するコミュニティーの間に橋をわたし、平和的な協力を生み出しています。

このプログラムの成功を受け、ほかの補助金の承認も得られ、イスラエル全土で引き続き平和への協力関係を築いていくと期待されます。



支援者の紹介

劉啟田さん・尹秀容さん（台湾）

アーチ・クランフ・ソサエティ管理委員会サークル

「戦争のない世界を願って、平和プログラムに毎年寄付しています。ロータリー財団は、世界でよいことをしている他の類のない団体です。財団が掲げる明確な目標と6つの重点分野はすべて、世界平和の実現へと結びつくものです」



COURTESY OF ROTARY CLUB OF CORAL SPRINGS-PARKLAND

数字で見るロータリー



暴力によるコストが世界のGDPに占める割合

13.3%

経済平和研究所



暴力が原因による年間の死亡数

160万

米国疾病対策センター (CDC)



2015年に紛争と迫害によって住む場所を失った人の数

113人に1人

UNHCR



身体的・性的虐待を受けたことのある女性の数

3人に1人

Search for Common Ground



COURTESY OF ROTARY CLUB OF WESTPORT

インフラ改善を通じて病気を予防するために、
医療従事者、患者、政府が協力しています

低コストでデング熱を予防

熱帯気候の地域で蚊を媒体として感染するデング熱は、高熱、激しい頭痛、倦怠感、嘔吐を引き起こす病気です。インドネシアのスラカルタでは、ソロ・カルティニ・ロータリークラブとウエストポート・ロータリークラブ（米国コネチカット州）が協力し、蚊の発生を防ぐことでデング熱を予防する活動を開始。蚊の

幼虫はゴミ集積場所やバスタブなど溜まった水でふ化するため、それを阻止しようという試みです。

まず、ロータリーのグローバル補助金を活用して、3,500以上の濃い色のセメントのバスタブ（インドネシアの家庭で一般的に使用）に白いタイルを張り、蚊の幼虫を簡単に見つけて駆除できるようにしました。次に、タブを適切に掃除し、水の入った容

rotary.org/annualreportで
 疾病予防と治療のロータリーの
 取り組みに関するこのほかの記事
 をご覧いただけます。



支援者の紹介

田中徳兵衛さん・州子さん (日本)

アーチ・クランフ・ソサエティ管理委員会サークル

「恵まれない健康状態の方に健康な生活を送る支援は重要だと思います。母の友人の息子さんが自閉症で困っていたのを知った父は、冠名基金を創設して研究者や治療現場の方を海外の先進的施設に送り出してきました。大変意義ある活動だと思います、私が基金を引き継いで支援を継続しています」



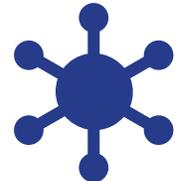
数字で見るロータリー



2000年～2015年
 5歳未満のマラリア
 死亡率の減少率

65%

UNICEF



HIV感染者数
 (このうち治療を
 受けているのは
 わずか1700万人)

3670万

米国疾病対策センター (CDC)

疾病との闘い

器に蓋をすること、蚊の発生源を減らすためにごみを埋めることなどについて、市民への指導を行いました。

スラカルタ公衆衛生局は、市のほかの地域にもこの「白タイル」プロジェクトを拡大し、デング熱予防に役立てる計画を立てています。



非伝染性疾患による
 年間死亡者数

4000万

World Hepatitis Alliance



早期の心臓疾患、
 脳卒中、糖尿病のうち
 予防可能な疾病

80%

WHO

安全な飲み水と基本的な衛生設備が利用できることは人権です

きれいな水の提供



rotary.org/annualreportで
水・衛生分野のロータリーの取
り組みに関するこのほかの記事
をご覧ください。

村にきれいな水がやってきた

パプアニューギニアのクリ村では、国内の多くの村と同じように、野ざらしの水源に頼ってきました。汚染水と不衛生な環境は、伝染病に罹患するリスクと乳児と子どもの死亡率を高める原因となっています。

クリ村での状況を改善するため、パプアニューギニアのマウント・ハーゲン・ロータリークラブと米国ワシントン州のセントラリア・ロータリークラブが協力し、数段階から成るグローバル補助金プロジェクトを実施しました。まず、補助金を利用して36,000リットルの雨水利用・配水システムを設置、維持し、現地の経済的中心であるコーヒーと紅茶農場にトイレ設備をつくりました。さらに、トイレの排泄物を肥料に変えるシステムをつくり、水を介した感染症を予防しています。その結果、住民たちは安全な飲み水と適切な衛生設備を長期的に利用できるようになりました。

取り組みはこれで終わりではありません。会員たちは経済発展と教育プロジェクトを実施してクリ村を引き続き支援していく計画を立てています。



COURTESY OF ROTARY CLUB OF CENTRALIA



支援者の紹介

ドリス・レッターさん (南アフリカ)
メジャードナー (レベル4)

「私は、水と衛生プロジェクトのために今後3～5年間に2500万ドルを募金することを目標として今年開始された、“水と衛生のための大口寄付推進計画”を支援しています。この分野を支援することで変化をもたらせると信じています。私にとって一番大切なのは、社会に恩返しをすることです」



数字で見るロータリー



全世界で
適切なトイレが
利用できない人の割合

3人に1人

WHO/UNICEF JMP



全世界で
きれいな水が利用できない人
の割合

10人に1人

WHO/UNICEF JMP



不衛生な環境による
子どもの死亡

20秒ごと

UN-Water



生産性を4ドル分
向上させるための
水と衛生への投資額

1ドル

UN-Water



高質な医療が利用できれば、母と子が長く、
健康な人生を送ることができます

母子の健康



rotary.org/annualreportで
母子の健康のためのロータリー
の取り組みに関するこのほかの
記事をご覧ください。



支援者の紹介

マット・カースさん・ジャニスさん (米国)
 アーチ・クランフ・ソサエティ管理委員会サークル、
 遺贈友の会レベル6

「医者として人びとの健康を大切に感じていま
 す。妊婦とその赤ちゃんが健康でいられること
 は、私たちにとってとても重要です。この分野
 の活動に自ら携わり、寄付し
 続けるのは、このためです。
 ロータリーは、全世界の
 人にとって、また奉仕活
 動を行う私たちにとっ
 て、非常に大きな
 存在です」



新生児の命を救う医療機器

ブラジル、リベイラバレーの病院の新生児集中治療室は、医療機器の不足という問題を抱えていました。保育器が7台しかなく、満員になると赤ちゃんを別の病院に搬送しなければなりません。小さな命にとってこれは非常に危険であり、同病院の高い幼児死亡率の原因となっていました。

レジストロ・ロータリークラブ (サンパウロ) と中津川ロータリークラブ (日本、岐阜県) が協力してグロー

バル補助金を利用し、この病院への支援に乗り出しました。集めた資金で、保育器、ベビーベッド、人工呼吸器、モニターなどの医療機器を購入したほか、妊婦検診と母乳育児の大切さに対する認識を高めるキャンペーンも実施しました。さらに、十代の妊婦への指導や母子の健康に関する教育も行いました。

新しい機器により、新生児集中治療室の収容人数が2倍となり、今では毎年、地元の220人以上の新生児を治療しています。

数字で見るロータリー



5歳未満の死亡件数の
 うち生後1年以内に
 亡くなる割合

70%以上

国連



専門スキルのある
 保健従事者により
 介助される出産

約75%

国連



出産や妊娠の合併症で
 毎日亡くなる女性の数

800人以上

Saving Mothers, Giving Life



1990年~2016年に
 減少した1日あたりの
 子どもの死亡数

約2万

Global Health Observatory



教育の支援

あらゆる年齢のための教育を促すために教師を支援



rotary.org/annualreportで
教育支援のロータリーの取り組みに関するこのほかの記事をご
覧いただけます。

光を灯して識字をもたらす

レオガン・ロータリークラブ（ハイチ）の地元の学校には、500人の孤児、貧困家庭の子ども、家事使用人として働く子どもが通っています。この学校では長年、6棟の校舎に電気がなく、太陽光だけしかなかったため、現地の高い成人非識字率を改善するための夜間授業を行うことができませんでした。そこでクラブは、この学校に電気を通し、子どもと大人のための教育を支援することにしました。

クラブは、協同提唱者であるパーカー・ロータリークラブ（米国コロラド州）とともにロータリーのグローバル補助金を活用し、地元で製造された太陽光パネルを使ったハイブリッド発電システムを設置。照明、パソコン、学校の給水ポンプのための電力を確保しました。さらに、クレオール語とフランス語の読み書きを教える夜間授業を行う教師たちに、成人向け識字教育に関する研修を提供しました。現在、子どもと大人の両方のための授業が行われています。



COURTESY OF ROTARY CLUB OF PARKER



支援者の紹介

イアン・マッケイさん・
シェリルさん（オーストラリア）
遺贈友の会（レベル3）

「私たちは二人ともずっと教育に携わってきま
したから、教育と識字の改善が地域の人びとに
明るい未来をもたらす最善
の方法だと知っています。
ロータリー財団への遺
贈で、世界に変化を
もたらせると信じて
います」



数字で見るロータリー



基本的な読み書きと
計算の能力がない
子どもの数

（うち約半数は就学児童）

2億5000万

UNESCO



国が定める基準を満たす
訓練を受けた
小学校教師の数

75%未満

UNESCO



読み書きできない成人の数
（うち約3分の2が女性）

7億5000万

UNESCO



就学していない
小学校年齢の
子どもの数

5900万

UNICEF



地域社会の経済的・社会的発展を促す機会を作り出す



地域経済の発展

rotary.org/annualreportで
地域社会の発展のロータリーの
取り組みに関するこのほかの
記事をご覧ください。

変化をもたらすチャンス

グアテマラ西部に住む貧しいマヤ人の女性とその家族の多くは、金融機関を利用できません。基本的な計算ができず、その日暮らしの生活をしているため、予期せぬ出費に備えるための貯金できません。また、融資も受けられないため、商売を始めたり、拡大したりできずに貧困から抜け出せない状況にあります。

このような状況を受け、グアテマラ・デラ・エルミタ・ロータリークラブとオークランド・ロータリークラブ（米国）がグローバル補助金を利用して「Saving for Change」（変化のための貯金）プロジェクトを実施。貧しい村々での持続可能な貯金・融資を支援しています。

この活動では、女性たちに基本的な金融知識と貯金の管理方法、事業の開始・拡大方法を指導しています。これまでに600人以上のマヤ人女性が、収入の増加、リーダーシップの発揮、家族を貧困から救うための知識の習得などの恩恵を受けました。

COURTESY OF ROTARY CLUB OF OAKLAND



支援者の紹介

ゼン・モイジーさん・ドリーンさん (カナダ)
アーチ・クランフ・ソサエティ管理委員会サークル
遺贈友の会レベル1

「ロータリー財団では、寄付者が選んだ重点分野や国／地区での活動に寄付を使うことができます。私たちは、法律や会計のインフラが不足しているウクライナでの経済と地域社会の

発展を末永く支援するために寄付を

活用することを決めました。ロー

タリー財団は、不可能

だったことを可能とし

てくれます」



数字で見るロータリー



世界で十分な食料が
得られない人の数

9人に1人

The Hunger Project



世界の飢餓人口のうち
女性・少女が
占める割合

60%

The Hunger Project



世界の貧困人口のうち
生活を農業に
頼る人の割合

70%

The Hunger Project



全世界の失業者数

2億以上

国際労働機関



ロータリーの財務

ロータリーは責任と透明性をもって資金を活用します

ロータリーが行う「よいこと」を 末永く続けていくために

国際ロータリーとロータリー財団は独立した法人で、それぞれが活動する国の法律や会計基準を順守しています。しかし、理念的にも、実際にも、ひとつの組織として機能しています。

世界200以上の国や地域、および29の通貨圏で活動する国際的組織として、ロータリーは、責任ある資金管理を重視しています。資金管理とは、資金を受領した時点からはじまり、慎重な投資を経て、人びとの人生を変えるような持続可能な補助金プロジェクト

ト、プログラム、会員への支援に使われるまでのプロセスすべてを指しています。

国際ロータリーは会員からの会費によって支えられ、ロータリー財団は自発的な寄付によって支えられています。ロータリアンは、自分が住む町だけでなく、世界中に長期的な変化をもたらしたいと願っています。クラブと地区は、ロータリー財団から授与された補助金を活用して、より良い町や世界を築くための補助金プロジェクトを実施しています。

ロータリーは、会員制奉仕団体として世界で活動すると同時に、会員のための支援業務も行っています。

数字で見るロータリー

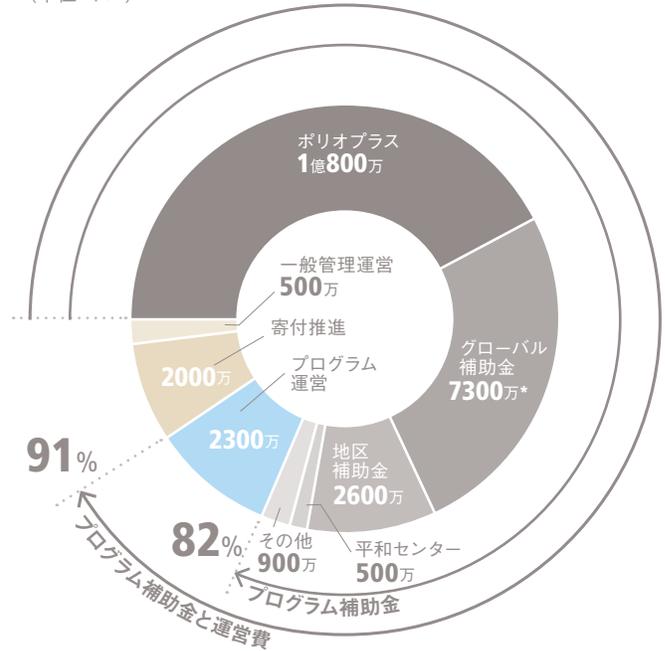
会費はどのように使われるか

2016-17年度の
年会費 **\$56.00**

-  \$19.55 プログラムと会員への支援
-  \$11.79 IT・運営・管理事務
-  \$9.34 コミュニケーション
-  \$5.17 国際業務
-  \$4.11 ガバナンスと役員
-  \$3.67 財務
-  \$2.37 人事・法務・監査

ロータリー財団の支出

(単位:ドル)



* 返金その他の調整後

国際ロータリーの収支報告

2016年会計年度と2017年会計年度 (6月30日現在、単位:1000米ドル)

	年度初め～現在	
	2016年実績	2017年実績
収入		
会費	\$ 67,459	\$ 68,784
投資純益 (純損失)	(2,956)	9,527
支援業務その他の活動	33,571	28,529
収入合計	\$ 98,074	\$ 106,840
支出		
運営費	\$ 69,416	\$ 74,117
支援業務その他の活動	27,560	20,819
一般剰余金	6,159	1,577
支出合計	\$ 103,135	\$ 96,513
為替差損	\$ (1,188)	\$ (75)
年金関係の調整額	\$ 4,320	
純資産の増加 (減少)	\$ (1,929)	\$ 10,252
純資産 (期首)	\$ 128,516	\$ 126,587
純資産 (期末)	\$ 126,587	\$ 136,839

ロータリー財団の収支報告

2016年会計年度と2017年会計年度 (6月30日現在、単位:1000米ドル)

	年度初め～現在	
	2016年実績	2017年実績
収入		
寄付	\$ 265,616	\$ 304,375
投資純益 (純損失)	(6,653)	98,052
補助金その他の活動 (純額)	(787)	(2,529)
収入合計	\$ 258,176	\$ 399,898
支出		
プログラム補助金	\$ 221,147	\$ 221,204
プログラム運営費	25,223	23,206
寄付推進	18,427	19,888
一般管理運営	5,247	4,753
支出合計	\$ 270,044	\$ 269,051
為替差損	\$ (6,419)	\$ (495)
年金関係の調整額	\$ 3,394	
誓約未収入金のための予備費	\$ (994)	\$ (1,810)
純資産の増加 (減少)	\$ (15,887)	\$ 128,542
純資産 (期首)	\$ 946,021	\$ 930,134
純資産 (期末)	\$ 930,134	\$ 1,058,676



2016-17年度に 新たにアーチ・クランフ・ソサエティに入会された方々 以前にリストに掲載されていなかった方々

管理委員長プラチナサークル

(寄付額5,000,000～9,999,999ドル)

Joseph O. Simington,[†] United States

財団サークル

(寄付額1,000,000～2,499,999ドル)

Kenneth J. Englehart and Helen Beatty
Englehart, United States
Helen Ruddock,[†] England
Patty L. Wolfe,[†] United States

管理委員長サークル

(寄付額500,000～999,999ドル)

Everitt J.[†] Hehn and Jean M. Hehn,
United States
Edwin L.[†] Kimbrough and Margaret[†]
Kimbrough, United States
John and Mary Ellen Matthews,
United States
E. Anne[†] Merryfield and Fred[†] Merryfield,
United States
Trilok[†] Nath and Sarojini[†] Nath, India
Frank H.[†] and Nancy Lyon[†] Porter,
United States
Edna and Martin Sutter, Philippines
Walter B.[†] and Marie[†] Williams,
United States

管理委員会サークル

(寄付額250,000～499,999ドル)

Ramesh Aggarwal and Nanda Aggarwal,
India
Nagendra Prasad B. L. and Meera B. L.,
India
Olayinka Hakeem Babalola and
Preba M. Babalola, Nigeria
Thomas N. Bagwell and Chantal Bagwell,
United States
V. Bhaskarram and Suchitra Ram, India
Devon G. and Linda J. Biddle, Canada
Michael and Gunhild Bostelmann,
Guatemala
Dietrich and Cathleen (Kitt) Brand, Canada
Terezinha Maria Calçada-Bastos, Brazil
Paulo Ibrahim Cançon and Evanize
Rodrigues Cançon, Brazil

Maria Rosa Nieva Carrion, Philippines
Tom and Laurie Carroll, United States
James Anthony Castley and Sandra Castley, Australia
Chiou-Hai Chang and Liao Li-Yu Chang, Taiwan
Wei-Chen Chang and Yueh-Nu Shih, Taiwan
Navdeep and Amita Chawla, India
Ching-Jung Chen Rehouse and Victoria Pai-Ching Hsu, Taiwan
Hsiang-Wei (Brian) Chen and Tsai-Lin Chen, Taiwan
Tung-Chin (Atma) Chen and Mei-Jui Wu, Taiwan
Chia-Hung Chin and Chia-Mei Chang, Taiwan
Hae-Sang Choi and Jin Choi, Korea
Porite Chiu-Lung and Wendy Chu, Taiwan
Antonio B. Co and Ma. Lourdes Ong Co, Philippines
John G. and Charlene S. Cox, United States
Brenda and Richard Cressey, United States
Jim and Nancy Crim, United States
John Daniel and Meera John, India
Yash Pal and Manju Das, India
David J. Dean and Margaret P S Dean, Australia
F. Ronald and E. Lynn[†] Denham, Canada
William E. and Mary Lee Dimond, United States
Kulbir Singh and Mira K. Dodd, India
Lucy Yu Dy,[†] Philippines
Charles W. Eisemann and Ann Eisemann, United States
Rafael and DJ Garcia, Philippines
Giju A. George and Ramani George, India
Geoff and Kim Goll, United States
Carol Govers and Vivien L.C. Moffat, Netherlands
James G. and Roberta R. Graham, United States
William Roy and Nancy Jean Gray, Canada
Antonio J. Grillo-Lopez and Maria S. Marxuach-Grillo, United States
Gregory S. and Lorraine Hale, Australia
Young-Sun Han and Nam Soon Woo, Korea
James M. and Carmen Hughes, United States
Jayne R. Hulbert and Eugene F. Duffy, United States
Ted William and Susan Vickery Hussar, United States
Robert and Riki Intner, United States
Bala Mohammed Inuwa and Ummulkhari Bala Inuwa, Nigeria
Darryl J. Iseppi, Australia
Subhash and Babita Jain, India
Suresh and Late Usha[†] Jain, India
Anthony L. and Rachel S. Jannetta, United States

Peter and Linda Gayle Jeschofnig, United States
Kulbhushan and Manju Kulbhushan Jetly, India
Somchai and Kwanjai Kamolpanthip, Thailand
Chandrashekara Shetty and Vinoda Chandra Kaup, United States
Jayantha Kumar, India
Cheng-Chin Lee and Xin-Ling Wang, Taiwan
Chin-Hsien Lee and Su-Yu Chen, Taiwan
Gi Chang Lee and Sang Keum Han, Korea
Ko-Chu (Game) Lee and Hui-Chen Wu, Taiwan
Wen-Ta Liao and Hui-Shen Liang, Taiwan
Yun-Liang Lin and Chin-Yu Lin Su, Taiwan
Tien-Fu (Medical) Lu and Ming-O Wu, Taiwan
Sathish Manandi and Sudha Sathish Manandi, India
William H. and Rebecca S. Manuel, United States
Marilyn Masiero, United States
Becky L. and Charles E. Mason Jr., United States
Neil and Cheryl McBeth, Canada
Steve and Mary McEachern, Canada
James and Maureen McKenzie, United States
Don L. and Carolyn A. Mebus, United States
Zen and Doreen Moisey, Canada
Krishna C. and Rathna Murthy, United States
M. Muruganandam and M. Sumathi, India
Meeran Nawas, India
Narayan and Sunanda Nayak, India
Jesus Songco and Mimosas M. Nicdao, Philippines
延原正・敬子、日本
Donald K. Nussmeier, United States
Gregory L. and Valerie J. Owen, United States
Emmanuel Dapidran Pacquiao, Philippines
Madhavi[†] and Vinaykumar Shripad Pai Raikar, India
Michael J. and Karen Parker, Canada
William R. and Delphine Patchett, Canada
Rustico V. and Lydia Miral Recto, Philippines
Vikram Kadiri and Vijayanthi Reddy, India
M. Kenneth Ruskin and Ruth Ruskin, United States
Tim and Sally Schilds, Canada
Stephen F. and Pamela J. Schlueter, United States
Theodore G. Schmidt Jr. and Elizabeth E.[†] Schmidt, United States
Allen J. Sellers III and Ana Virginia Sellers, Panama

Jaya Rajyalaxmi Shah, Nepal
William C. (Bill) Slicker, United States
Marian Smith, United States
Sri Sharada Peetham Sringeri, India
Lyn and Alex Stroschin, Canada
Jafer Noman Sura and Banoo Jafer Sura, United Arab Emirates
田中徳兵衛・州子、日本
Ratan Tata, India
Pok-Zin Teo and Avery Teo, Singapore
Daniel Tung-Hsien Tsai and Lillian Li-Ling Hung, Taiwan
Eugene Jean Dong Tsai and Lillian Shu-Er Tsai, Taiwan
Gregory K. and Pearl C. Tse, United States
Fong-Chuan Tu and Mei-Chi Chang, Taiwan
Joop and Susan Ueffing, Canada
Ravi and Rajyalakshmi Vadlamani, India
William C.[†] Van Engelenburg and Els H. Van Engelenburg, United States
Jerry W. Venters and Cassy Dierking Venters, United States
Arnaud C.M.C. Verstraete, Thailand
Col. John F.[†] Weeks and Elizabeth A.[†] Weeks, United States
Bruce and Pat Williams, Canada
Hui-Hsia Judy Yeh and Ching-Fa Chiu, Taiwan
Shih-Hui Yeh, Cambodia
Ching-Hua Yen and She-Fen Lai, Taiwan
S.R. Yogananda and Rajashree Yogananda, India

**2016-17年度に新たに
アーチ・クラフ・ソサエティの
ファミリーサークルの
メンバーとなった方々**
(ソサエティメンバーによる
250,000ドル以上のご寄付を通じて
メンバーとなったご家族)

Tzu Yi Laura Huang, Cambodia
Honored by Shih-Hui Yeh
Dae Hee Lee, Korea
Honored by Dong Kurn Lee and Young Ja Chung
Joong Hee Lee, Korea
Honored by Dong Kurn Lee and Young Ja Chung
Yi-Xian Lee, Taiwan
Honored by Cheng-Chin Lee and Xin-Ling Wang
David William Sutter, Philippines
Honored by Edna and Martin Sutter
Naomi Yen, Taiwan
Honored by Ching-Hua Yen and She-Fen Lai

(敬称略)
[†] 故人



活動のパートナー

ロータリーは世界各地で人道的活動に取り組むため、多くの国際機関、非営利団体、教育機関と協力しています。

ポリオ撲滅活動のパートナー

国際ロータリーは、以下の組織とともに、世界ポリオ撲滅推進活動 (GPEI) で中心的役割を担っています。

- 世界保健機関 (WHO)
- ユニセフ
- 米国疾病対策センター (CDC)
- ビル&メリンダ・ゲイツ財団
- 世界各国政府

国連

国際ロータリーは、国連や世界15都市にある国際組織との協力を強めるため、代表者を各団体に派遣しています。

戦略パートナー

- 米国国際開発庁 (USAID) :
RIとUSAIDによる国際H2O協力
- ユネスコ水教育研究所 (UNESCO-IHE)
奨学金プログラム
- 経済平和研究所
(Institute for Economics and Peace)

奉仕のパートナー

以下の団体は、各地のロータリークラブと協力して活動を行っています。

- 米国平和部隊 (Peace Corps)
- ドリー・パートンのイマジネーション・ライブラリ
- グローバル・フードバンキング・ネットワーク
- YSA (青少年活動を推進する米国団体)

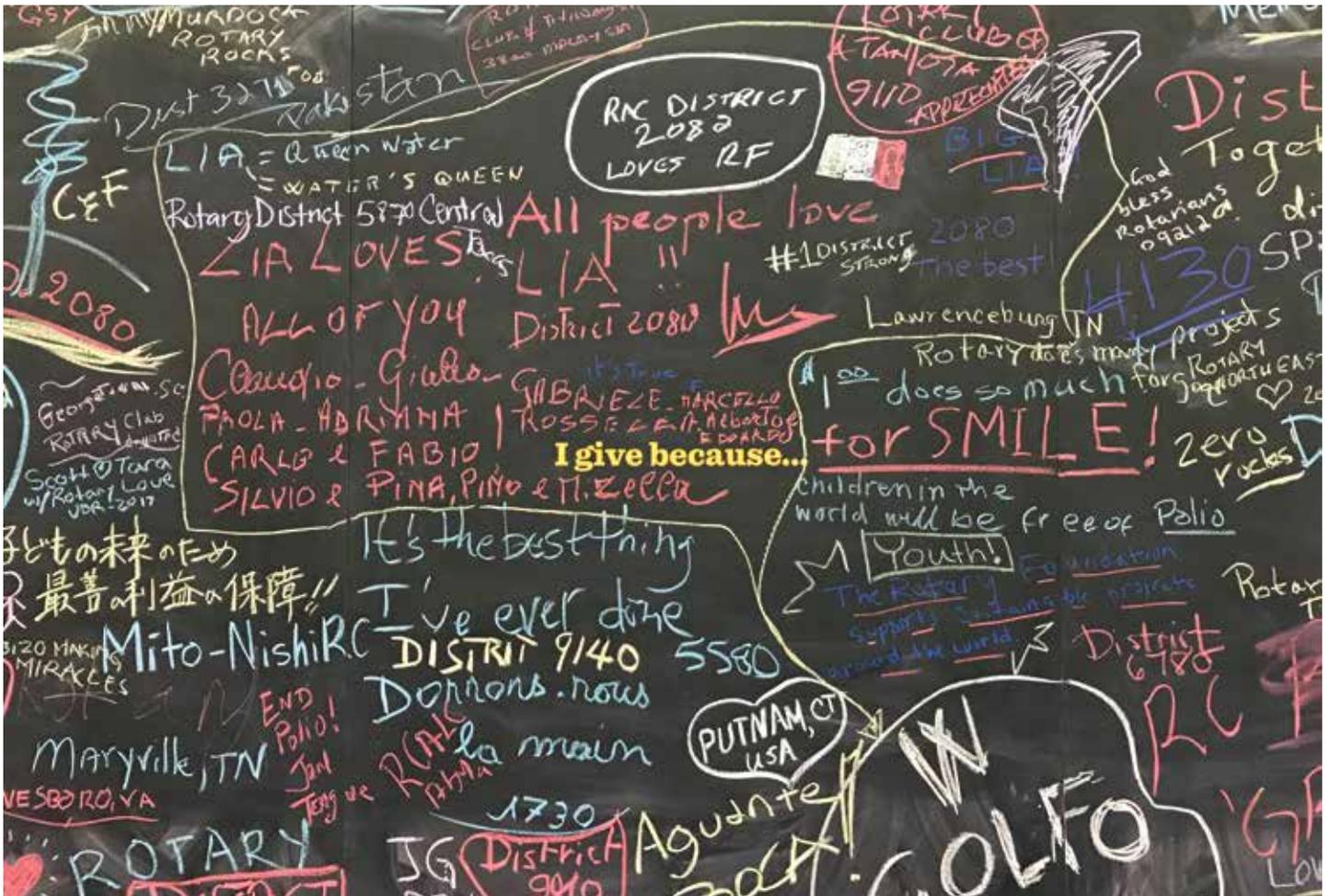
プロジェクトのパートナー

「シェルターボックス」は、災害救援活動におけるロータリーのパートナーです。

ロータリー平和センター

ロータリー財団は以下の大学にロータリー平和センターを設け、平和と紛争予防／紛争解決の分野の学位または修了証を取得するためのフェローシップ (奨学金) を提供しています。

- チュラロンコーン大学 (タイ)
- デューク大学・ノースカロライナ大学チャペルヒル校 (米国)
- 国際基督教大学 (日本)
- ブラッドフォード大学 (英国)
- クイーンズランド大学 (オーストラリア)
- ウプサラ大学 (スウェーデン)



国際ロータリー2016-17年度理事会

会長

ジョン F. ジャーム (米国)

会長エレクト

イアン H.S. ライズリー (オーストラリア)

副会長

ジェニファー E. ジョーンズ (カナダ)

財務長

林 修銘 (台湾)

理事

ミカエル・アルベリ (スウェーデン)

ジェラルド・アロノー (フランス)

ホルヘ・アウフランク (グアテマラ)

エドゥアルド・サン・マルティン・カレニョ (スペイン)

マノジ D. デサイ (インド)

コーネリユ・ディンカ (ルーマニア)

ジェームズ・ロナルド・フェリル (米国)

ブラッドフォード R. ハワード (米国)

ジョセフ M. マルケリン (米国)

ピーター L. オファー (英国)

サワラ・ラタナウィック (タイ)

ディーン・ロース (カナダ)

斎藤 直美 (日本)

ジョゼ・ウラビシ・シルバ (ブラジル)

ノエル・トレヴァスキス (オーストラリア)

カレン・ウェンツ (米国)

事務総長

ジョン・ヒューコ (ウクライナ)

ロータリー財団2016-17年度管理委員会

管理委員長

カルヤン・バネルジー (インド)

管理委員長エレクト

ポール A. ネットェル (米国)

副委員長

ケネス M. シュパート・ジュニア (米国)

トーマス M. ソーフィンソン (米国)

管理委員

ノエル A. バジャット (米国)

オルシリック・バルカン (トルコ)

ウィリアム B. ボイド (ニュージーランド)

ロン D. パートン (米国)

マリオ セザール・マルティン・デ・カマルゴ (ブラジル)

メアリー・ベス・グローニー・セリーン (米国)

スシル・グプタ (インド)

ゲイリー C.K. ホァン (黄 其光) (台湾)

北 清治 (日本)

バリー・ラシン (バハマ)

ブリン・スタイルズ (カナダ)

尹 永錫 (韓国)

事務総長

ジョン・ヒューコ (ウクライナ)



表紙の写真

中央: タンザニアのウケレウェ島で修理工場を営む整備士で、ロータリーが支援した起業家でもあるラマドハン・アルファニさん（左）と話す、ナンシオ・ウケレウェ・アイランド・ロータリークラブ会員のヨハナ・ツマイニ・ラディスラウスさん。ロータリーが寄贈したツールのおかげで、アルファニさんは事業を拡大し、3人の従業員を雇うことができました。

写真: MIRIAM DOAN

右上: 16年連続でインドでのポリオ撲滅活動に参加する弘前アップルロータリークラブ（日本、青森県）の会員。この写真は、デリーでのポリオ認識向上ラリーにて撮影されました。

写真: ALLISON KWESELL

右下: メキシコの子どもたちに配布される学用品を箱詰めする米国カリフォルニア州ロサンゼルス市のローターアクター、ロータリアン、地元の人たち。地区補助金を利用したこのプロジェクトは、2週間をかけて米国西海岸全土で行なわれた奉仕プロジェクト「Connecting for Good Tour」の一環でした。

写真: ALYCE HENSON



ROTARY INTERNATIONAL®
THE ROTARY FOUNDATION

Rotary.org

